

2024 年 10 月 16 日
中電不動産株式会社

『SEVENS VILLA 軽井沢』
2024 年度グッドデザイン賞受賞に関するお知らせ

当社が長野県北佐久郡軽井沢町において、中部電力グループの株式会社日本エスコンと共同で手がけた分譲レジデンス『SEVENS VILLA 軽井沢』が、この度 2024 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



記

1. 『SEVENS VILLA 軽井沢』



【審査員コメント】

広大な敷地内に、戸建てに近い 7 戸の集合住宅が建つ、稀有なプロジェクトである。既存樹木を可能な限り残し、専用庭や専用テラスを設け、豊かな自然環境に溶け込むような住空間を作り出した点を高く評価した。 ゲーテッドコミュニティであることについては賛否が分かれるが、ゲート自体は木々の風景に調和するようにデザインされており、景観に対する配慮が感じられる。 中央に配置された駐車場部分がやや殺風景で、ヴィラズコリドーと各住戸が分断されているように見える点がいささか残念ではあるが、敷地条件を生かした豊かで良質な住宅群が実現できている。

【物件の特徴】

『SEVENS VILLA 軽井沢』は、軽井沢の奥座敷と呼ばれ、静寂と深い緑に包まれた南ヶ丘エリアにおいて、約半世紀にわたって親会社である中部電力株式会社の保養地であった 5,000 m²超の敷地に、当社と株式会社日本エスコンが共同で手掛けた全 7 邸の分譲レジデンスです。両社は、長い歳月をかけて軽井沢南ヶ丘の自然が創り出した景観と、共存する住まいの新しいあり方を目指し、伝統的な日本建築の思想を先進の技術で昇華した今までにない軽井沢の別荘を追求しました。

コンセプトは、庭と建物が一体となり調和するさまを表す日本の伝統的な考え方「庭屋一如（ていおくいちにょ）」を取り入れ、広大な敷地内にある豊かな緑を最大限に活かし、全邸・街区共に自然と一体化する佇まいとなることを目指した「苑屋一如（えんおくいちにょ）」です。

配棟計画では、5,000 m²超の敷地に 7 邸とあえてゆとりのある計画とし、その豊かな敷地を活用することで、全邸に 100 m²超の専用庭やテラスを設け、プライベート空間の中で 100 年を経た森の景観を味わうことができるなど集合住宅でありながら戸建別荘のようなライフスタイルを実現しています。また、各邸それぞれの外観に個性を持たせながらも、屋根付きのガレージでつながりを持たせ街区の一体感を創出することで、ひとつの絵画のような景観を創出するデザインを採用しています。

自然と共存する住まいを追求し、軽井沢南ヶ丘の豊かな樹々と自然を大切に、本計画地内の既存の樹木を可能な限り残しながら、この地の風景に寄り添うような開発を実現しました。



鳥瞰



専用テラス

『SEVENS VILLA 軽井沢』では、専有部内でも随所にそのコンセプトを叶える工夫を施しました。全邸に切妻屋根の特性を活かした大胆な吹抜けを設け、テラスや庭に面する開口部では高さ 2.4m の大開口サッシを採用しています。また、屋内にいても軽井沢の木漏れ日を感じられる造りとし、リビングには薪ストーブの設置にも対応できるよう煙突を実装することで、軽井沢の冬も心ゆくまで愉しめる仕様としました。



外観



リビング

7 邸すべてに設けたプライベートガーデンは、既存樹を残しながら自然に溶け込むよう設計しました。共用部には、森の中を散策しているような仕立てとして、車路と分離した歩行者用の“Villa's Corridor”（散策路）を設け、車を気にすることなく、安全に軽井沢の自然を満喫できる空間を提供しています。



ウッドデッキ・プライベートガーデン



Villa's Corridor

【物件概要】

物件名称：SEVENS VILLA 軽井沢

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字西原 1130-7 他（地番）

交通：JR 北陸新幹線・しなの鉄道線「軽井沢」駅徒歩 20 分

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上 2 階建

総戸数：7 戸（全戸完売）

以上

<本件に関する問い合わせ> 分譲開発部 開発グループ 電話 052-204-1470